

ニーズ調査の集計方法

(社会養護検討部会)

◆◇目次◇◆

1. 全国共通で「量の見込み」を算出する項目	1
2. 量の見込みの具体的算出方法	2
(1) 家庭類型の分類	2
(2) 『現在の家庭類型』の算出方法	3
(3) 『潜在的な家庭類型』の算出方法	4
(4) 計画期間における推計児童数	5
(5) 量の見込みの算出手順	5
3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法	6
(1) 時間外保育事業	6
(2) 放課後児童健全育成事業	7
(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）	8
(4) 地域子育て支援拠点事業	10
(5) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助 活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔病児・緊急対応強化 事業を除く〕）	11
(6) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター 事業〔病児・緊急対応強化事業〕）	17
(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児のみ）	19
(8) 利用者支援事業	21

1. 全国共通で「量の見込み」を算出する項目

下記の事業については、全国共通で、市町村子ども・子育て支援事業計画で定める「教育・保育提供区域」ごとに「量の見込み」の算出を行う。

図表 1 全国共通で「量の見込み」を算出する項目

	対象事業	対象児童年齢
1	教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭＞	3～5 歳
2	保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5 歳
	保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5 歳
3	保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0 歳、1・2 歳
4	時間外保育事業	0～5 歳
5	放課後児童健全育成事業	1～3 年生、4～6 年生
6	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト別）	0～18 歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2 歳
8	一時預かり事業 ・ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・ その他	3～5 歳
		0～5 歳
9	病児保育事業	0～5 歳、1～6 年生
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5 歳、1～3 年生、 4～6 年生
11	利用者支援事業	0～5 歳、1～6 年生

※その他の事業

乳児家庭全戸訪問事業	0 歳
養育支援訪問事業	（養育力不足の家庭）
妊婦に対して健康診査を実施する事業	（妊婦）
実費徴収に係る補足給付を行う事業	※国から事業の詳細が 示された後に検討
多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	

2. 量の見込みの具体的算出方法

(1) 家庭類型の分類

- ・対象となる子どもの父母の有無、
- ・就労状況から「家庭類型」（タイプ A からタイプ F の 8 種類）に分類。

図表 2 家庭類型の種類

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプ A	ひとり親家庭
タイプ B	フルタイム×フルタイム
タイプ C	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部)
タイプ C'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)
タイプ D	専業主婦（夫）
タイプ E	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部)
タイプ E'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)
タイプ F	無業×無業

- ・家庭類型を“現在の利用状況”と“利用希望”ごとに算出する。

- ①現在の家庭類型
- ②母親の就労希望を反映させた潜在的な家庭類型

- ・子どもの年齢区分によるパターン

- ①0 歳～就学前
- ②0 歳
- ③1・2 歳
- ④3 歳～就学前

(2)『現在の家庭類型』の算出方法

<ステップ1> タイプA（ひとり親家庭）の算出

<ステップ2> タイプBからタイプFの算出（図表3）

<ステップ3> 年齢区分別の集計（図表4）

図表3 クロス集計によるタイプBからタイプFの設定

母親 父親		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
			120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'		
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE		タイプD	
	120時間未満 下限時間以上					
	下限時間未満	タイプC'		タイプE'		
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない			タイプD			タイプF

図表4 家庭類型のアウトプットイメージ

家庭類型区分		年齢区分別	年齢統合 (0歳～就学前)
タイプA:ひとり親家庭	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプB:フルタイム×フルタイム	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプC:フルタイム×パートタイム	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプC':フルタイム×パートタイム(短)	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプD:専業主婦(夫)	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプE:パート×パート	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプE':パート×パート(短)	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	
タイプF:無業×無業	0歳	%	%
	1・2歳	%	
	3歳以上	%	

(3)『潜在的な家庭類型』の算出方法

- <ステップ1> 潜在タイプA（ひとり親家庭）の算出
- <ステップ2> 潜在タイプBから潜在タイプFの算出
- <ステップ3> 年齢区分別のクロス集計
- <ステップ4> 構成比の算出

図表5 家庭類型集計結果の入力シート（参考：平成27年度）

■0歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	61	0.05	61	0.05
タイプB フルタイム×フルタイム	566	0.45	632	0.51
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	252	0.20	267	0.21
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	39	0.03	45	0.04
タイプD 専業主婦(夫)	330	0.26	243	0.19
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	2	0.00	2	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00	0	0.00
全体	1250	1.0	1250	1.0

■0歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	11	0.02	11	0.02
タイプB フルタイム×フルタイム	208	0.45	239	0.52
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	63	0.14	87	0.19
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	10	0.02	11	0.02
タイプD 専業主婦(夫)	166	0.36	110	0.24
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00	0	0.00
全体	458	1.0	458	1.0

■1・2歳

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	13	0.03	13	0.03
タイプB フルタイム×フルタイム	176	0.47	195	0.52
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	81	0.21	81	0.21
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	9	0.02	13	0.03
タイプD 専業主婦(夫)	98	0.26	75	0.20
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00	0	0.00
全体	378	1.0	378	1.0

■3歳～就学前

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親	37	0.09	37	0.09
タイプB フルタイム×フルタイム	182	0.44	198	0.48
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	108	0.26	101	0.24
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	20	0.05	26	0.06
タイプD 専業主婦(夫)	66	0.16	51	0.12
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1	0.00	1	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00	0	0.00
全体	414	1.0	414	1.0

(4) 計画期間における推計児童数

図表 6 計画期間における推計児童数

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	1,497	1,476	1,463	1,444	1,426
1歳	1,555	1,537	1,516	1,503	1,483
2歳	1,552	1,564	1,547	1,525	1,511
3歳	1,609	1,573	1,585	1,567	1,545
4歳	1,540	1,626	1,590	1,602	1,585
5歳	1,585	1,549	1,636	1,599	1,612
6歳	1,596	1,596	1,560	1,647	1,610
7歳	1,700	1,605	1,605	1,569	1,657
8歳	1,467	1,702	1,607	1,607	1,571
9歳	1,666	1,472	1,709	1,613	1,614
10歳	1,602	1,670	1,476	1,713	1,617
11歳	1,719	1,606	1,674	1,480	1,717

■ 0歳～就学前

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
9,338	9,326	9,337	9,241	9,162

■ 0歳

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1,497	1,476	1,463	1,444	1,426

■ 1・2歳

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3,107	3,102	3,063	3,027	2,995

■ 3歳～就学前

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
4,735	4,749	4,811	4,769	4,742

(5) 量の見込みの算出手順

事業ごとに次の項目を設定し、量の見込みを算出する。

- 1) 対象となる潜在家庭類型
- 2) 対象年齢
- 3) 利用意向率、又は利用意向（利用意向率×利用意向日数）
- 4) 量の見込みの算出方法

3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みの算出方法

(1) 時間外保育事業

1) 対象となる潜在家庭類型

- ・潜在タイプ A (ひとり親家庭)
- ・潜在タイプ B (フルタイム×フルタイム)
- ・潜在タイプ C (フルタイム×パートタイム [月 120 時間以上+月下限時間～120 時間の一部])
- ・潜在タイプ E (パートタイム×パートタイム [双方が月 120 時間以上+月下限時間～120 時間の一部])

2) 対象年齢

0 歳から 5 歳以下を対象とする。

3) 利用意向率

上記 1) 2) の対象者について、

- ・問 11 (平日定期的に利用したい教育・保育の事業) に回答したもののうち、「3. 認可保育所」「4. 認定こども園」「5. 認定保育所」「6. 事業所内保育施設」のいずれかを選択している、かつ、
- ・問 10 (利用希望時間) で、「18 時以降」と記入してある場合の割合を算出する。(但し、無回答を除いて割り戻す)

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数 (人)」×「潜在家庭類型 (割合)」＝「家族類型別児童数 (人)」

※推計児童数 (人) は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家族類型別児童数 (人)」×「利用意向率 (割合)」＝「量の見込み (人)」

図表 7 量の見込みの算出プロセス (時間外保育事業) (参考：平成 27 年度)

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	9,338	0.049	456
タイプB フルタイム×フルタイム		0.506	4,722
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.214	1,995
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	15

<ニーズ量の算出>

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	456	0.310	141
タイプB フルタイム×フルタイム	4,722	0.306	1,447
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,995	0.035	69
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	15	0.500	7

【注】0～5歳以下家庭のみ

(2) 放課後児童健全育成事業

1) 対象となる潜在家庭類型

- ・潜在タイプ A (ひとり親家庭)
- ・潜在タイプ B (フルタイム×フルタイム)
- ・潜在タイプ C (フルタイム×パートタイム [月 120 時間以上+月下限時間～120 時間の一部])
- ・潜在タイプ E (パートタイム×パートタイム [双方が月 120 時間以上+月下限時間～120 時間の一部])

2) 対象年齢

5 歳児を対象とする。

3) 利用意向率

上記 1) 2) の対象者について、

- ・低学年については、問 21 (放課後の時間を過ごさせたい場所) で「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」を選択した割合 (但し、無回答を除いて割り戻す) を算出する。
- ・高学年については、問 22 (放課後の時間を過ごさせたい場所) で「6. 放課後児童クラブ [学童保育]」を選択した割合 (但し、無回答を除いて割り戻す) を算出する。

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数 (人)」×「潜在家庭類型 (割合)」＝「家族類型別児童数 (人)」

※推計児童数 (人) は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家庭類型別児童数 (人)」×「利用意向率 (割合)」＝「量の見込み (人)」

図表 8 量の見込みの算出プロセス（放課後児童健全育成事業）（参考：平成 27 年度）

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)		c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	4,763	×	0.089	=	426
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.478	=	2,278
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.244	=	1,162
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.002	=	12

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)		d:利用意向率(割合)		e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	426	×	0.529	=	225
タイプB フルタイム×フルタイム	2,278	×	0.473	=	1,077
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,162	×	0.647	=	752
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	12	×	0.000	=	0

【注】6歳～8歳家庭のみ

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)		c:家庭類型別児童数(人)
タイプA ひとり親	4,987	×	0.089	=	446
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.478	=	2,385
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.244	=	1,217
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.002	=	12

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数(人)		d:利用意向率(割合)		e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	446	×	0.235	=	105
タイプB フルタイム×フルタイム	2,385	×	0.275	=	655
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,217	×	0.324	=	394
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	12	×	0.000	=	0

【注】9～11歳家庭のみ

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

1) 対象となる潜在家庭類型

全ての家庭類型を対象として算出する。

2) 対象年齢

0歳から5歳以下を対象とする。

3) 利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

①利用意向率

上記1) 2) の対象者について、

問 20（泊りがけの預け先）に回答した者のうち、「2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童福祉施設等で一定期間、子どもを預かる事業）」、「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合を算出する。

②利用意向日数

上記1) 2) の対象者について、

問 20（泊りがけの預け先）の「2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童福祉施設等で一定期間、子どもを預かる事業）」、「5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

図表 9 利用意向集計結果の入力シート（子育て短期支援事業）（参考：平成 27 年度）

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.034	9.500	0.3
タイプB フルタイム×フルタイム	0.002	2.000	0.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.000		0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)			0.0
タイプF 無業×無業			0.0

【注】0～就学前家庭のみ

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」＝「家族類型別児童数(人)」

※推計児童数(人)は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家族類型別児童数(人)」×「利用意向」＝「量の見込み(人日)」

図表 10 量の見込みの算出プロセス（子育て短期支援事業）（参考：平成 27 年度）

＜家族類型別児童数の算出＞

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	9,338	0.049	456
タイプB フルタイム×フルタイム		0.506	4,722
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.214	1,995
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.036	336
タイプD 専業主婦(夫)		0.194	1,815
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	15
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

＜ニーズ量の算出＞

	c:家族類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	456	0.322	147
タイプB フルタイム×フルタイム	4,722	0.003	15
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,995	0.000	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	336	0.000	0
タイプD 専業主婦(夫)	1,815	0.000	0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	15	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	0	0.000	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

（４）地域子育て支援拠点事業

１）対象となる潜在家庭類型

全ての家庭類型を対象として算出する。

２）対象年齢

０歳から２歳のみを対象とする。

３）利用意向（利用意向率×利用意向回数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向回数）を求める。

①利用意向率

上記１）２）の対象者について、

問 14（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場」（を利用している）と回答した者の人数と、問 15（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」と回答した者の人数を、回答者全体の人数（問 14 または問 15 の無回答の人数を除く）で割ったものを算出する。

②利用意向回数

上記１）２）の対象者について、

問 14（地域子育て支援拠点事業の利用状況）で「1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過したり、相談をする場」（を利用している）と回答した者と、問 18（地域子育て支援拠点事業の利用意向）で、「1. 利用していないが、今後利用したい」「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の月当たり平均利用回数

図表 11 利用意向集計結果の入力シート（地域子育て支援拠点事業）（参考：平成 27 年度）

	利用意向率(割合)	平均利用意向回数(回)	利用意向
タイプA ひとり親	0.010	3.750	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.252	4.304	1.1
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.098	4.756	0.5
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.022	7.158	0.2
タイプD 専業主婦(夫)	0.163	6.140	1.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプF 無業×無業	0.000		0.0

【注】0～2歳家庭のみ

４）量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

※推計児童数（人）は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人）」

図表 12 量の見込みの算出プロセス（地域子育て支援拠点事業）（参考：平成 27 年度）

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,604	0.029	132
タイプB フルタイム×フルタイム		0.519	2,390
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.201	925
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.029	132
タイプD 専業主婦(夫)		0.221	1,019
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.001	6
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人回)
タイプA ひとり親	132	0.036	5
タイプB フルタイム×フルタイム	2,390	1.084	2,591
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	925	0.464	429
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	132	0.155	21
タイプD 専業主婦(夫)	1,019	0.999	1,017
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	6	0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	0	0.000	0

【注】0～2歳以下家庭のみ

(5) 一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔病児・緊急対応強化事業を除く〕）

「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）」と「それ以外」で、見込み量の算出方法が異なる。

I. 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

1) 対象となる潜在家庭類型

- ・潜在家庭類型 C'、D、E'、F を対象（以下、(a) 1号認定による利用）
- ・潜在家庭類型 A、B、C、E を対象（以下、(b) 2号認定による利用）

2) 対象年齢

3歳から5歳以下を対象とする。

3) 利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

(a). 1号認定による利用

①利用意向率

ア（1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合）×
イ（不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かり又は幼稚園の預かり保育の利用割合）を算出する。

※上記「ア」（割合）

上記1) 2) の対象者について、

問 11（平日定期的に利用したい教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時

間の利用)」または「4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」を選択、かつ、問 19（不定期事業の利用意向）で、1. ～4.（利用したい）と選択した者が、これらの間の回答者数に占める割合

※上記「イ」（割合）

問 10（平日定期的に利用している教育・保育の事業）で、「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択、かつ、問 18（不定期事業の利用状況）で、「1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）」「3. ファミリー・サポート・センター」「4. 子育て短期支援事業」「5. ベビーシッター」「6. その他」を選択した者のうち、問 18 で「1. 一時預かり（同）」または「2. 幼稚園の預かり保育（同）」を選択した者の割合

②利用意向日数

上記 1） 2）の対象者について、問 19（不定期事業の利用意向）で 1. ～4.（利用したい）に回答のあった者の「平均日数」を算出する。

（b）. 2号認定による利用

①利用意向率

1.0

※「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの」は、「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり」を利用することによりニーズがカバー。

②利用意向日数

2号認定のうち、幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるものの問 7. ー 1 で把握する「就労日数」

※1週当たり α 日 $\times$ 52週

図表 13 利用意向集計結果の入力シート（預かり保育）（参考：平成 27 年度）

■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）

①＜1号認定＞による利用

		ア	イ	利用意向日数(日)	利用意向
タイプC'	フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.560	1.000	26.571	14.9
タイプD	専業主婦(夫)	0.417	0.917	24.000	9.2
タイプE'	パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)				0.0
タイプF	無業×無業				0.0

【注】3～就学前家庭のみ

ア:「1号認定に該当すると考えられる子どもの不定期事業の利用希望割合」

イ:「不定期事業を利用している幼稚園利用者の幼稚園型一時預かり等の利用割合」

②＜2号認定＞による利用

	利用意向率(割合)	就労日数(日)	利用意向
タイプA	ひとり親	1.000	260.000
タイプB	フルタイム×フルタイム	1.000	270.000
タイプC	フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1.000	249.600
タイプE	パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1.000	0.0

4) 量の見込みの算出方法

(a). 1号認定による利用

ア 家庭類型別児童数の算出

「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」＝「家族類型別児童数(人)」

※推計児童数(人)は、年齢各歳別のデータを用いる。

イ 量の見込みの算出

「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」＝「量の見込み(人日)」

(b). 2号認定による利用

ア 家庭類型別児童数の算出

「2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者」の数

※2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの）

1) 対象となる潜在家庭類型

- ・潜在タイプ A（ひとり親家庭）
- ・潜在タイプ B（フルタイム×フルタイム）
- ・潜在タイプ C（フルタイム×パートタイム [月 120 時間以上+月 下限時間～120 時間の一部]）
- ・潜在タイプ E（パートタイム×パートタイム [双方が月 120 時間以上+月 下限時間～120 時間の一部]）

2) 対象年齢

3 歳以上のみ算出する。

3) 利用意向率

上記 1) 2) の対象者について、問 10（平日定期的に利用している教育・保育の事業）に回答した者のうち、問 10 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」を選択した者の割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

図表 14 利用意向率集計結果の入力シート（参考：平成 27 年度）

（2号認定：幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定）

2号認定

幼稚園の利用希望が強いと想定

	現在の利用率(割合)	利用意向率(割合)
タイプA ひとり親	(任意)	0.083
タイプB フルタイム×フルタイム	(任意)	0.217
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	(任意)	0.223
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	(任意)	0.000

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

※推計児童数（人）は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」＝「量の見込み（人）」

図表 15 量の見込みの算出プロセス（参考：平成 27 年度）

（2号認定：幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定）

■3歳～就学前家庭のみ

＜家族類型別児童数の算出＞

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	4,735	0.089	423
タイプB フルタイム×フルタイム		0.478	2,264
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.244	1,155
タイプC' フルタイム×パートタイム(下業時間未満+下業時間～120時間の一部)		0.063	297
タイプD 専業主婦(夫)		0.123	583
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	11
タイプE' パート×パート(いずれかが下業時間未満+下業時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

＜2号認定＞(幼稚園)

	c:家族類型別児童数	d:利用意向率(割合)	e:ニーズ量(人)
タイプA ひとり親	423	0.083	35
タイプB フルタイム×フルタイム	2,264	0.217	491
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,155	0.223	258
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	11	0.000	0

イ 量の見込みの算出

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

図表 16 量の見込みの算出プロセス（預かり保育）（参考：平成 27 年度）

<幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	4,735	0.063	297
タイプD 専業主婦(夫)		0.123	583
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	297	14.9	4,424
タイプD 専業主婦(夫)	583	9.2	5,346
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	0	0.0	0

【注】3～5歳以下家庭のみ

<2号認定による定期的な利用>

<家族類型別児童数の算出>

	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	35
タイプB フルタイム×フルタイム	491
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	258
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	35	260.0	9,168
タイプB フルタイム×フルタイム	491	270.0	132,627
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	258	249.6	64,408
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0

【注】3～5歳以下家庭のみ

Ⅱ. 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育） 以外

1) 対象となる潜在家庭類型

全ての家庭類型を対象として算出する。

2) 対象年齢

0歳から5歳以下を対象とする。

3) 利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

①利用意向率

上記1) 2)の対象者について、問 19（不定期事業の利用意向）に回答した者のうち、

1. ～4.（利用したい）を選択した者の割合

②利用意向日数

上記1) 2)の対象者について、問 19（不定期事業の利用意向）で、1. ～4.（利用したい）に回答のあったものの「平均日数」

図表 17 利用意向集計結果の入力シート（預かり保育以外）（参考：平成 27 年度）

■上記以外

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.556	31.679	17.6
タイプB フルタイム×フルタイム	0.457	29.324	13.4
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.529	36.252	19.2
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.583	37.071	21.6
タイプD 専業主婦(夫)	0.451	36.078	16.3
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.500	22.000	11.0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプF 無業×無業	0.000		0.0

【注】0～就学前家庭のみ

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

※推計児童数（人）は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」

－「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり（預かり保育）（1号認定による利用のみ）の利用意向日数」

－「問 18（不定期事業の利用状況）における「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用日数」

＝「量の見込み（人日）」

※この計算の過程で、家庭類型ごとの「量の見込み」がゼロ以下となる場合にはゼロとする。

図表 18 量の見込みの算出プロセス（預かり保育以外）（参考：平成 27 年度）

＜上記以外＞

＜家族類型別児童数の算出＞

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	9,338	0.049	456
タイプB フルタイム×フルタイム		0.506	4,722
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.214	1,995
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.036	336
タイプD 専業主婦(夫)		0.194	1,815
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	15
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

＜ニーズ量の算出＞

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	幼稚園における在園児を対象とした一時預かりのニーズ量
タイプA ひとり親	456	17.599	
タイプB フルタイム×フルタイム	4,722	13.414	
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,995	19.192	
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	336	21.625	4,424
タイプD 専業主婦(夫)	1,815	16.283	5,346
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	15	11.000	
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.000	0
タイプF 無業×無業	0	0.000	0

【注】0～5歳以下家庭のみ

	問23「5. ベビーシッター」「6. その他」の利用(人日)	e:ニーズ量(日)
タイプA		8,020
タイプB		63,333
タイプC	5	38,277
タイプC'		2,846
タイプD	6	24,207
タイプE		164
タイプE'		0
タイプF		0

（6）病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔病児・緊急対応強化事業〕）

1）対象となる潜在家庭類型

- ・潜在タイプ A（ひとり親家庭）
- ・潜在タイプ B（フルタイム×フルタイム）
- ・潜在タイプ C（フルタイム×パートタイム）
- ・潜在タイプ E（パートタイム×パートタイム）

2）対象年齢

0 歳から 5 歳以下を対象とする。

3）利用意向（利用意向率×利用意向日数）

病児・病後児の発生頻度と利用意向日数を算出し、利用意向（利用頻度×利用意向日数）を求める。

①病児・病後児の発生頻度

上記 1） 2）の対象者について、

問 17（病気やけがで事業ができなかった場合の対処方法）で、「1. 父親が休んだ」「2.

母親が休んだ」に回答した者のうち、問 17－1（病児・病後児保育等の利用意向）で

「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、

問 17 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」「7. ファミリー・サポート・センターを利用した」「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の合計を問 17 の回答者全員で割る。

②利用意向日数

上記 1) 2) の対象者について、

問 17-1 (病児・病後児保育等の利用意向) で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答があった日数の総計と、

問 17 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」「7. ファミリー・サポート・センターを利用した」「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した日数の総計を足し合わせる。

- ・先に求めた「日数の総計」について、

問 17-1 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」、問 17 で「5. 病児・病後児の保育を利用した」「7. ファミリー・サポート・センターを利用した」「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」のいずれかに回答があった人数の合計（「延べ」でなく「実人数」、「0 日」回答は除く）で割った数。

図表 19 利用意向集計結果の入力シート（病児・病後児保育等）（参考：平成 27 年度）

	発生頻度	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.0	12.167	0.2
タイプB フルタイム×フルタイム	0.1	10.786	1.5
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+48~120時間の一部)	0.1	12.800	0.8
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+48~120時間の一部)	0.0	5.000	0.0

【注】0～就学前家庭のみ

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」＝「家族類型別児童数(人)」

※推計児童数(人)は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家族類型別児童数(人)」×「利用意向」＝「量の見込み(人日)」

図表 20 量の見込みの算出プロセス（病児・病後児保育等）（参考：平成 27 年度）

<0～5歳以下家庭のみ>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)		b:潜在家庭類型(割合)		c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	9,338	×	0.049	=	456
タイプB フルタイム×フルタイム		×	0.506	=	4,722
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.214	=	1,995
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		×	0.002	=	15

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数		d:利用意向		e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	456	×	0.215	=	98
タイプB フルタイム×フルタイム	4,722	×	1.511	=	7,137
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,995	×	0.784	=	1,563
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	15	×	0.007	=	0

(7) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）（就学児のみ）

1) 対象となる潜在家庭類型

全ての家庭類型を対象として算出する。

2) 対象年齢

5歳児を対象とする。

3) 利用意向（利用意向率×利用意向日数）

利用意向率と利用意向日数を算出し、利用意向（利用意向率×利用意向日数）を求める。

①利用意向率

上記1) 2) の対象者について、

低学年については、問 21（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

高学年については、問 22（放課後の時間を過ごさせたい場所）で「7. ファミリー・サポート・センター」を選択した割合（但し、無回答を除いて割り戻す）を算出する。

②利用意向日数

上記1) 2) の対象者について、低学年は問 21、高学年は問 22 で「7. ファミリー・サポート・センター」と回答のあったものの平均日数を算出する。

図表 21 利用意向集計結果の入力シート（ファミリー・サポート・センター）（参考：平成27年度）

■低学年

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.000		0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.018		0.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.000		0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)			0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)			0.0
タイプF 無業×無業			0.0

【注】6～8歳以下家庭のみ

■高学年

	利用意向率(割合)	利用意向日数(日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.000		0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.020		0.0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.000		0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.000		0.0
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)			0.0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)			0.0
タイプF 無業×無業			0.0

【注】9～11歳以下家庭のみ

4) 量の見込みの算出方法

①家庭類型別児童数の算出

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数（人）」

※推計児童数（人）は、年齢各歳別のデータを用いる。

②量の見込みの算出

「家庭類型別児童数（人）」×「利用意向」＝「量の見込み（人日）」

図表 22 量の見込みの算出プロセス（ファミリー・サポート・センター）（参考：平成 27 年度）

<低学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,763	0.089	426
タイプB フルタイム×フルタイム		0.478	2,278
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.244	1,162
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.063	299
タイプD 専業主婦(夫)		0.123	587
タイプE パート×パート(双月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	12
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	426	0.0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	2,278	0.0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,162	0.0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	299	0.0	0
タイプD 専業主婦(夫)	587	0.0	0
タイプE パート×パート(双月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	12	0.0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	0	0.0	0

【注】6歳～8歳家庭のみ

<高学年>

<家族類型別児童数の算出>

	a:推計児童数(人)	b:潜在家庭類型(割合)	c:家庭類型別児童数
タイプA ひとり親	4,987	0.089	446
タイプB フルタイム×フルタイム		0.478	2,385
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.244	1,217
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.063	313
タイプD 専業主婦(夫)		0.123	614
タイプE パート×パート(双月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.002	12
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

<ニーズ量の算出>

	c:家庭類型別児童数	d:利用意向	e:ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	446	0.0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	2,385	0.0	0
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1,217	0.0	0
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	313	0.0	0
タイプD 専業主婦(夫)	614	0.0	0
タイプE パート×パート(双月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	12	0.0	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.0	0
タイプF 無業×無業	0	0.0	0

【注】9～11歳家庭のみ

(8) 利用者支援事業

教育・保育施設や地域の子育て支援の事業に係る情報集約・提供、相談等を実施することから、教育・保育施設や他の地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを勘案して、当事業の量の見込みの算出をすること。